三島学園報

NO.10
2008.7

学校法人 三島学園

東北生活文化大学 | 東北生活文化大学短期大学部 | 東北生活文化大学高等学校 | ますみ幼稚園 | ますみ保育園

服飾文化専攻で衣料管理士養成のスタート

平成19年度、大学家政学科家政学専攻は、より専門性の高い、多様化するアパレルビジネスに対応した総合的な教育に主眼を置いた服飾文化専攻へと改称し、さらに、平成20年度、衣料管理士養成施設の認定を受け、衣料管理士の養成をスタートした。衣料管理士とはファッションのアパレルからインテリア用品や雑貨まで、繊維製品の企画・設計／販売／品質保証／消費者対応について、知識と技術を生かして人々に貢献するプロフェッショナルであり、認定を受けた大学でのみ取得できる。近年、アパレル系企業へ就職する学生が多く、衣料管理士資格の取得が学生のモチベーションを高め、服飾産業の分野等で活躍できる人材の育成につなげたい。

アートな職人育成プログラム開講式

応募者35名の中から選考された14名の受講生、講師となる職人・大学教員、理事長はじめ各関係者出席のもと、平成20年3月25日、100周年記念棟会議室を会場に、開講式並びにオリエンテーションが行われた。

主催者側挨拶の後、受講生にはそれぞれ自己紹介の中で、アートな職人育成プログラムに対する意欲的な抱負を語ってもらった。

当日は地元テレビ局の取材もあり、その様子が報道され、当プログラムの大きなはずみとなった。

第11回全国高等学校選抜少林寺拳法大会に参加して

わが少林寺拳法部は、去る3月22日～23日岡山県美作市で開催された第11回全国高等学校選抜少林寺拳法大会に宮城県代表として男子組演武、男子単独演武に出場した。「宮本武蔵顕彰武蔵武道館」で開催されるとあって、決勝進出を目指した。あと一歩というところで、決勝進出は果たせなかったが、上位入賞した他校の演武を見ることができ大いに参考になった。

「第2回日本の環境を守る若武者育成塾」に参加して

高校美術コース3名（千葉礼美・地島江利華・高橋茉希）は昨年12月23日にアサヒビール社主催の「第2回日本の環境を守る若武者育成塾」に参加した。「デザインを通して考える地域文化と環境問題」をテーマに掲げ、「昔話（紙芝居）」を通して環境問題に対する意識改革を提案し、発表したところ、東北6県の各県代表の中から第1位に選ばれ最優秀賞を受賞した。

「昔の生活と今の生活の違いを比較できる」「昔は存在していたが現在では失われつつあるものが見えてくる」「地域の魅力を再認識できる」など、昔話も視点を変えることで様々な事が見えてきた。その成果を、仙台市文学館で開催された「みやぎの昔話」での発表や児童センターなど様々な場所で発表を行った。

長い活動期間の締めくくりとして、今年3月15日～16日に副賞の高知県四万十川ツアーに参加した。四万十川の自然の豊かさを感動しつつ現地の四万十高校と交流を深めてきた。

これからも、環境に対するひとびとの意識改革を昔話（紙芝居）を通して行っていきたいと思う。

Information インフォメーション

●大学・短大
「オープンキャンパス2008」
○**日時**／平成20年7月19日（土）、8月10日（日）、10月25日（土）
※10月25日は大学祭と同時開催
○**内容**／体験学習・キャンパス見学・受験相談コーナー
○**お問合せ**／東北生活文化大学・短期大学部 入試課 TEL:272-7521

●大学・生活美術学科
「2008夏期 高校生のためのデッサンセミナー」
○**日時**／平成20年8月4日（月）～8月7日（木）
○**内容**／基礎デッサンの実技講習
○**お問合せ**／東北生活文化大学・生活美術学科 TEL:272-7519

●高校
「第1回学校説明会」
○**日時**／平成20年7月12日（土）9:30～13:00
○**会場**／東北生活文化大学高等学校

●高校
「第9回中学生美術コンクール」作品募集
○**課題テーマ**／「顔」～カオ～　○**作品サイズ**／B3サイズ
○**表現技法**／平面（技法・画材は自由）
○**受付期間**／平成20年8月25日（月）～9月2日（火）
○**お問合せ**／中学生美術コンクール事務局 TEL:272-7522

●高校
「2008中学生イラスト・マンガコンクール」作品募集
○**応募内容**／イラスト部門・4コママンガ部門
○**作品サイズ**／B4サイズ
○**応募期間**／平成20年7月14日（月）～7月31日（木）
○**お問合せ**／中学生イラスト・マンガコンクール事務局 TEL:272-7522

大学・家政学科

●課題研究発表会／平成20年2月8日（本学百周年記念棟）
●課題研究展／平成20年3月15日（本学5号館）

課題研究の口頭発表と展示が行なわれ、19年度4年生による29題の研究成果が公開された。3年間で学んだ内容から選んだ課題研究のテーマを、約1年間かけて研究したものである。分野は、教育学、言語と生活、染色学、被服科学、食物学、健康医学、食品学、栄養学、応用食品栄養学、公衆栄養学、給食経営管理・臨床栄養学、生活情報学にわたる。発表会では、学生の熱心な発表が続き、活発な質疑応答が交わされた。卒業式当日の課題研究展では、作品やポスター展示を行い、御父兄をはじめ、皆様に研究成果を御覧いただいた。

大学・生活美術学科

●卒業制作展
／平成20年2月8日～13日（せんだいメディアテーク）

4年間の集大成とも言える卒業制作展が今年2月、せんだいメディアテークで開催され1,700人近くの方に御覧いただいた。分野は、洋画・日本画・版画・フレスコ画・デザイン・染色・イラストレーション・テキスタイル・木工・陶芸・オブジェ・モザイク・トンボ玉と多岐に渡り、約50点の展示となった。

作品はそれぞれの素材や技術の可能性を最大限に活かし、学生らしい斬新で自由な表現が多かった。

今回もまた作品の表現意図や制作過程を直接伝える事により、鑑賞者に親近感を持っていただきたいと思い、教員と学生によるギャラリートークを会期中の土・日に実施した。

短大・生活文化学科

●課題研究展示発表会／平成20年2月22日～24日（イズミティー21展示室）
※口頭発表会は初日のみ

平成19年度「課題研究展」は、平成20年2月22日（金）から2月24日（日）までの3日間、イズミティー21展示室にて行われた。今回は、生活学専攻の課題研究である、被服構成学、染色、情報造形、シュガークラフト、西洋文化研究の展示の他に、子ども生活専攻における授業の製作物であるエプロンシアターや手袋なども展示された。なお、初日には主に生活学専攻の学生が参加し、情報造形分野の口頭発表も行われた。

高校・美術コース

●第5回美術コース卒業制作展
／平成20年2月16日～23日（オンワードスクエア）

例年卒業制作展の会場として使用していた宮城県美術館県民ギャラリーが改装中のため、本年はオンワードスクエアで行った。全面ガラス張りの新しいビルで、1F展示フロアを借りて行った。

テーマは「我楽多」で、読んで字の如く「わたしが楽しめればそれでいいの!」という意味と、当人にとっては眩い輝きを放つ魅力的なものという意味が込められている。美術コース5期生28名の染織、陶芸、七宝、絵画、立体造形の作品約150点が展示された。期間中約500名の方々が来場し生徒を激励していただいた。

学生・生徒の活躍

大学・短大

●生活美術学科
○第58回モダンアート展
【版画部門の部/入選】角田沙織（生活美術学科2年）
○第72回河北美術展
【彫刻部門の部/入選】中里仁美（生活美術学科4年）
脇山樹人（生活美術学科3年）
清水直土（生活美術学科3年）
【洋画部門の部/入選】後藤和紀（生活美術学科2年）
佐藤健史（生活美術学科2年）
髙橋多恵子（生活美術学科1年）
○第85回春陽展
【版画部門の部/入選】沼木あゆみ（生活美術学科3年）
●少林寺拳法部
○第38回少林寺拳法東北学生新人大会（多賀城市体育館）
【男子段外の部/最優秀賞】相澤知賀子（生活美術学科2年）
【男子初段の部/決勝進出】工藤貴央（家政学科健康栄養専攻3年）
【男子段外の部/決勝進出】清水直土（生活美術学科3年）
●女子バレーボール
○第33回東北バレーボール大学男女南リーグ戦大会【3部リーグ優勝】
【優秀選手賞】吉田安寿佳（短大・生活学専攻2年）

高校

●女子ソフトボール部
○第53回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会【出場】
○第43回宮城県高等学校女子ソフトボール選抜大会【第2位】
○第27回宮城県私立高等学校女子ソフトボール選手権大会【第2位】
●男子バドミントン部
○第31回宮城県私立高等学校バドミントン大会【男子団体/準優勝】
○第25回市長杯 泉区学校対抗バドミントン大会
【男子1部/優勝】【女子1部/優勝】
●少林寺拳法部
○第45回仙台市民総合体育大会2008少林寺拳法演武大会
【高校男子級の部/第3位】【高校男子段の部/第3位】
○第17回剛武館信龍会空手道選手権大会
【優勝】渡邉将也（普通科3年3組）
●女子ソフトテニス部
○宮城県高等学校ソフトテニスインドア大会【女子団体/第4位】
●女子バレーボール大会
○第14回スプリングカップバレーボール大会【準優勝】
◆表彰者
○第31回宮城県私立高等学校バドミントン大会
【優秀選手賞】白石祐樹（商業科3年1組）　永澤加奈（普通科3年2組）
○【日本情報処理検定協会検定委員長賞】
西城裕也（商業科3年1組）　伊藤健太（商業科3年1組）
○【社団法人 全国経理教育協会賞】外崎弘海（商業科3年3組）
○【高校生新聞社賞】
遠藤紗希（宮城伝承文化研究会 代表/普通科3年8組）　他28名

寸　言

「変わる」から「変える」への認識　【高校長】光井　正

「立派な生徒さんたちでいいですね。」それは4月、3年生の遠足でのこと。福島市の「四季の里いちご園」、従業員の方が話してくださったことです。苺を食べた後のヘタを紙コップに入れて出口でヘタと紙コップを仕分けてゴミ箱にいれる。それが整然と行われていることへの感謝が冒頭の言葉となって表れたのです。いまどきの高校生はマナーがなっていないというのに、そのよさに感動したそうです。“入れて育てる”といいますが、本校の教師集団の指導力の素晴らしさを感じる一幕でした。

現在、少子化がどんどん進んでいます。仙台地区の中卒者数の推移をみますと平成20年が14,209名、3年後の平成23年は14,000名を割り込み、その後漸減し続け、11年後の平成31年には現在より約1,000名減の13,235名に落ち込んでいきます。まさに、超少子化に突入です。この傾向は全国的にも同じです。このような状況の中で生徒の確保は学園の死活問題になります。

地球温暖化が、現在大きな課題になっています。19世紀末に化石燃料を使いすぎると気温が上がる可能性について一部の科学者が指摘しましたが、人々の関心は薄かったようです。それが戦後、科学者などの国際会議で、やがて政治にも取り上げられ徐々にその関心が高まってきました。人類は、快適な生活を求めて、安全・安心な社会の構築を求めて、経済的にも、精神的にも豊かな生活を送りたいため、文明化を推し進めてきました。そのあくなき人間の欲望が、地球全体にまで大きな影響を及ぼし、気付いてみれば地球が温暖化しているのが、現在の姿ではないかと思います。

環境が、世の中が変わったとよく言いますが、われわれ自身が知らず知らずに世の中を変えていることを認識することが必要と思います。変えているのはわれわれ自身である。だから、世の中が変わっていくことを嘆いてもなんら解決にはなりません。その外的環境、時の変化を鋭くキャッチし、自分が立っている処で変化にいち早く対応し、主体性を発揮し、対策を講じていくことが大切と考えます。気付いたときに取り返しの付かない事態にならないようにしたいものです。

論語に「人無遠慮必有近憂」とあります。人がもし眼前の安きに馴れて、遠い将来のことを手広く熟慮して予防しないと、必ず足元から の禍が起こるという意味だそうです。昔から言われていることですが、あらためて自分自身の戒めとしたいと思っております。

108年の伝統を持つ本学園も、時代の潮流に流されない不易の部分を大事にしつつ、流行の部分も的確に把握し、内なる改革をし、未来に向かって生き生きとした夢のある学園にしたいものと考えます。

人事異動について

■退職者（3月31日付け）

○教員

大　学　【特任講師】伊藤洋子（家）
短　大　【特任教授】中村雅知　【講師】伊藤麗子
高　校　【教諭】南齋敏夫　【嘱託教諭】千坂篤
　　　　【常勤講師】小関しのぶ、千葉美佳
幼稚園　【嘱託教諭】大野滋子
保育園　【嘱託栄養士】菅原恵里子

○職員

大　学　【副手】相澤菜津子（家）　【事務補助員】湯澤今日子
短　大　【副手】小関真由子、千田真理子
高　校　【事務職員】山内史雄（5月31日付け）
幼稚園　【園長解任】佐藤芙貴子

■新規採用（4月1日付け）

○教員

大　学　【講師】伊澤華子（家）、渡邉圭介（美）
短　大　【講師】大瀬戸美紀、奥山優佳
高　校　【嘱託教諭】髙橋充夫、中條正弘
　　　　【常勤講師】深堀浩明、小原真司、齋藤正和、渡邉高史、中田洋之、西山康德、地吹典子、佐藤千明
幼稚園　【園長】髙橋守
保育園　【嘱託栄養士】大内智子

○職員

大　学　【助手】佐々木規之（家）（6月1日付副手より任用換）
　　　　【副手】浅野朋美（家）
短　大　【事務】津島信夫　【図書館事務補佐員】渡邊真澄
　　　　【副手】安住恭子、藤本このみ
高　校　【嘱託職員】岩崎栄一

■昇格等

大　学　【大・短図書館長】近江恵美子（副館長）
　　　　【准教授】鈴木直枝、佐々木裕子（講師）
短　大　【特任教授】佐藤芙貴子（特任准教授）
高　校　【教諭】梅津隆、鍋島能敬、堀田絵里（常勤講師）
保育園　【嘱託保育士】矢羽々靖子（非常勤保育士）

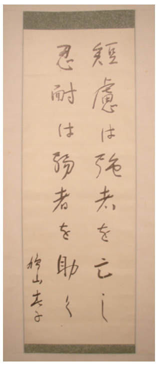
■その他（4月1日付け）

【子育て支援センター長兼任】大庭 清　【産業医兼任】片山正文

学園歴史探訪

鳩山女史との交友

顕彰館に鳩山春子氏揮毫の一幅が残されている。曰く「短慮は強者を亡ぼし 忍耐は弱者を助く」と。女史はご存知の通り、元内閣総理大臣鳩山一郎氏の御母堂であり、明治19（1886）年共立女子職業学校（現共立女子大学）の創設に参画、校長として女子教育に献身した。三島よし先生は10歳ほど年下であるが、明治36（1903）年東北女子職業学校を創設し、同じく校長として女子実業教育の振興に専念した。志を同じくする両女史の親交は一幅の書となり、また同窓会誌「梅のかおり」創刊号への特別寄稿となった。そして昭和3（1928）年両氏は長年の女子教育への功績が評価され共々に勲六等瑞宝章授与の栄によくされた。



大学認証評価の結果について
―「評価基準を満たしている」との認定―

東北生活文化大学は平成19年度に「日本高等教育評価機構」（JIHEE）の認証評価を受けたが、この3月に「大学評価基準を満たしている」との認定をいただくことができた。同機構による『評価報告書』は、Ⅰ認証評価結果、Ⅱ総評、Ⅲ基準ごとの評価結果で構成されており、Ⅲには、判定理由、優れた点、改善を要する点、参考意見などが記されている。ただ、認定に際して、理事会と評議会の審議及び運営方法を改善することという「条件」が付けられているので、早急な対応が必要である。なお、日本高等教育評価機構の『評価報告書』と同機構に提出した『東北生活文化大学自己評価報告書』は本学園のホームページに掲載されている。

（大学・短期大学部自己点検・評価委員会委員長　菅並茂樹）

平成20年度年間主要行事予定表（平成20年4月～平成21年3月）

月	大学・短大	高校	幼稚園	保育園
4	4. 入学式 5,7. ガイダンス 7~8. 新入生 オリエンテーションキャンプ 短大2年研修旅行 10. 前期授業開始	7. 入学式・始業式・新任式 9. 第1回学力テスト 16~17. 新入生オリエンテーション (松島) 28. 遠足	10. 始園式 11. 入園式 22. 対面式 30. 保育参観・父母の会総会	5. 入園式・はじまりの会
5	16~17. 大美1年研修旅行 31. 後援会総会	1~2. 球技大会 10. 模擬試験 16. 生徒総会 17. PTA総会・保護者懇談会	8. 内科検診 15. 歯科検診 16. 親子遠足	15. 歯科検診 16. 内科検診 20. 親子遠足
6	14. 体育祭	7~9. 高校総体 16~20. 中間考査 20. 芸術鑑賞会	21. 保育参観日	2. 身体測定 13,18. 保育参観・懇談会
7	19. オープンキャンパス 21. 前期授業終了	5~6. 生文祭 12. 海外研修出発 12. 第1回学校説明会 16~18. 三者面談 21~25. 夏季休業	14. 夏まつりバザー 18. 終園式 22~8/25. 夏休み 24~25. お泊り保育	7. 七夕まつり 26. 夏まつり
8	1~9/18. 夏季休業 4~7. 大美・高校生のための デッサンセミナー 10. オープンキャンパス	26. 第2回学力テスト	26. 始園式	
9	9~11. 博物館実習旅行 9~12. 大家2年(服専)研修旅行 9~13. 大美2年美術鑑賞旅行 19. 後期授業開始	13. 第2回学校説明会 18~25. 期末考査 25. 前期終業式		27. 運動会
10	25. オープンキャンパス 25~26. 大学祭	1. 後期始業式 10. 体育祭 22. 私学振興大会 24. 生徒総会	11. 運動会 16. いも掘遠足・焼きいも会	23. いも煮会
11	15. 推薦入試	8. 第3回学校説明会 18~21. 中間考査(2年) 27~30. 修学旅行(2年) 27~12/2. 中間考査(1･3年)	14. 七五三お参り 28. 避難訓練	
12	25~1/10. 冬季休業	13. 第7回読書クイズ王決定戦 20~1/8. 冬季休業	13. クリスマス発表会 19. 終園式	17. もちつき会 19. クリスマス発表会
1	30~31. 大家課題研究発表会	推薦入試 26~30. 学年末考査(3年)	9. 始園式	
2	3~4. 一般入試(A日程) 13~18. 大美卒業制作展 27~3/1. 短大作品展示・発表会	一般入試 25. 平和を想う日～柿Peace～	3. 豆まき会	3. 豆まき会 13,17,20. 保育参観・懇談会
3	4. 一般入試(B日程) 10~. 春季休業 15. 学位記授与式・ 卒業証書授与式 大家課題研究展	2. 賞状授与式・同窓会入会式 3. 卒業式 4~10. 学年末考査 19. 終業式	3. ひなまつり会 14. 卒園式 19. 修園式	3. ひなまつり会 21. 卒園式 26. 大きくなったお祝いの会

※学園創立記念日……10月27日

学生・生徒・園児　在籍数（平成20年5月1日現在）【単位:人】

区分		1 年	2 年	3 年	4 年	合 計
大学	家政学科	56(7)	65(13)	65(11)	69(11)	255(42)
	生活美術学科	31(3)	60(7)	59(12)	38(12)	188(34)
	小計	87(10)	125(20)	124(23)	107(23)	443(76)
短大	生活学専攻	30(1)	28(3)			58(4)
	子ども生活専攻	54(9)	55(6)			109(15)
	小計	84(10)	83(9)			167(19)
高校	普通科	362(161)	246(88)	275(83)		910(332)
	商業科	82(59)	81(36)	53(36)		186(131)
	小計	444(220)	327(124)	328(119)		1,096(463)
幼稚園		年少	年中	年長		
		37(17)	20(8)	31(13)		88(38)
保育園		0歳児	1･2歳児	3歳児	4･5歳児	
		4(2)	23(11)	12(4)	29(18)	68(35)
合計						1,862(631)

(　)男子の人数

役員並びに評議員数調（平成20年5月1日現在）【単位:人】

区分	理事	監事	評議員(理事兼務者)
男	8	2	12(8)
女	1	0	8(1)
計	9	2	20(9)

教職員数調（平成20年5月1日現在）【単位:人】

学校別＼職名	学長 校長 園長	教授 教諭 保育士	准教授 養護教諭 教諭	講師	助手	事務職員	現業職員	小計	副手 事務補佐員 受託職員	契約教員 非常勤保育士	臨時職員	嘱託栄養士	常勤講師 嘱託保育士 等	非常勤講師	小計	合計
大学	1	14	6	9	4	11		45	7		3			33	43	88
短大	(1)	5	3	6		5	1	20	5		2			11	18	38
高校	1	42	1			8	2	54	2		3		17	39	61	115
幼稚園	1	5					1	7		1					1	8
保育園	1	6						7		2	1	1	8		12	19
合計	4	72	10	15	4	24	4	133	14	3	9	1	25	83	135	268

平成19年度学校法人計算書類

平成19年度資金収支及び消費収支の概要は表1･2･3･4のとおりである。表中の予算は、平成20年3月に見直し作成した補正予算の金額である。
（千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。）

●表1.平成19年度資金収支計算書（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）【単位:千円】

収入の部	予算	決算	差異	支出の部	予算	決算	差異
学生生徒納付金収入	1,149,438	1,152,820	△ 3,382	人件費支出	1,169,250	1,173,595	△ 4,345
手数料収入	27,550	28,296	△ 746	教育研究経費支出	295,407	294,725	682
寄付金収入	37,730	38,641	△ 911	管理経費支出	143,567	141,996	1,571
補助金収入	559,034	561,494	△ 2,460	借入金等利息支出	10,450	10,442	8
資産運用収入	3,076	3,775	△ 699	借入金等返済支出	58,760	58,760	0
事業収入	91,100	96,845	△ 5,745	施設関係支出	190,218	190,588	△ 370
雑収入	55,978	56,090	△ 112	設備関係支出	28,368	28,426	△ 58
借入金等収入	100,000	100,000	0	その他の支出	156,822	161,154	△ 4,332
前受金収入	206,858	206,130	728	内部資金支出		12	△ 12
その他の収入	138,100	139,731	△ 1,631	（予備費）	56		56
内部資金収入	0	12	△ 12				
資金収入調整勘定	△ 254,359	△ 249,129	△ 5,230	資金支出調整勘定	△ 43,410	△ 44,601	1,191
前年度繰越支払資金	344,050	344,050	0	次年度繰越支払資金	449,067	463,658	△ 14,591
収入の部合計	2,458,555	2,478,755	△ 20,200	支出の部合計	1,289,305	1,305,160	△ 15,855

差異＝予算－決算

●表2.平成19年度消費収支計算書（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）【単位:千円】

収入の部	予算	決算	差異	支出の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,149,438	1,152,820	△ 3,382	人件費	1,168,540	1,173,001	△ 4,461
手数料	27,550	28,296	△ 746	教育研究経費	416,807	415,574	1,233
寄付金	37,730	40,371	△ 2,641	管理経費	163,367	161,210	2,157
補助金	559,034	561,494	△ 2,460	借入金等利息	10,450	10,442	8
資産運用収入	3,076	3,775	△ 699	資産処分差額	0	1,159	△ 1,159
事業収入	91,100	96,845	△ 5,745	徴収不能引当金繰入額	4,000	992	3,008
雑収入	55,978	56,647	△ 669	（予備費）	56		56
帰属 収入 合計	1,923,906	1,940,248	△ 16,342				
基本金組入額合計	△ 156,260	△ 159,039	2,779				
消費収入の部合計	1,767,646	1,781,209	△ 13,563	消費支出の部合計	1,763,220	1,762,378	842
				当年度消費収入超過額	4,426	18,831	
				前年度繰越消費支出超過額	2,558,706	2,558,706	
				翌年度繰越消費支出超過額	2,554,280	2,539,875	

差異＝予算－決算

また、貸借対照表について、前年度からの資産と負債の増減は表3のとおりである。
（百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致していない場合がある。）

●表3.貸借対照表（平成20年3月31日）【単位:百万円】

科目		19年度末	18年度末	増減
資産の部	固定資産	3,520	3,441	79
	流動資産	493	426	67
資産の部合計		4,013	3,867	146
負債の部	固定負債	682	637	45
	流動負債	322	398	△ 76
負債の部合計（1）		1,004	1,035	△ 31
基本金の部	基本金の部合計（2）	5,549	5,390	159
消費収支差額の部	消費収支差額合計（3）	△ 2,540	△ 2,559	19
（1）＋（2）＋（3）		4,013	3,866	147

また、財産目録は表4のとおりである。
（百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致していない場合がある。）

●表4.財産目録【単位:百万円】

区分		金額
資産額	1 基本財産	3,520
	2 運用財産	493
合計（資産総額）		4,013
負債額	1 固定負債	682
	2 流動負債	322
合計（負債総額）		1,004
正味財産（資産総額－負債総額）		3,009

平成20年度収支予算書

平成20年度資金収支予算及び消費収支予算の概要は表5･6のとおりである。表中の予算は、平成20年3月に見直し作成した19年度補正予算の金額である。
（千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。）

●表5.平成20年度資金収支予算書（平成20年4月1日から同21年3月31日まで）【単位:千円】

収入の部	当年予算	前年予算	差異	支出の部	当年予算	前年予算	差異
学生生徒納付金収入	1,163,323	1,149,438	13,885	人件費支出	1,274,620	1,169,250	105,370
手数料収入	24,380	27,550	△ 3,170	教育研究経費支出	309,930	290,990	18,940
寄付金収入	11,200	37,730	△ 26,530	管理経費支出	148,100	143,040	5,060
補助金収入	503,000	559,033	△ 56,033	借入金等利息支出	10,720	10,450	270
資産運用収入	3,320	3,076	244	借入金等返済支出	33,210	58,760	△ 25,550
事業収入	91,000	91,100	△ 100	施設関係支出	10,500	190,218	△ 179,718
雑収入	84,720	55,978	28,742	設備関係支出	13,800	28,368	△ 14,568
借入金等収入	0	100,000	△ 100,000	その他の支出	103,750	156,821	△ 53,071
前受金収入	206,858	206,858	0				
その他の収入	93,360	138,100	△ 44,740	（予備費）	5,000	5,000	0
資金収入調整勘定	△ 271,878	△ 254,359	△ 17,519	資金支出調整勘定	△ 81,230	△ 43,410	△ 37,820
前年度繰越支払資金	449,067	344,050	105,017	次年度繰越支払資金	529,950	449,067	80,883
収入の部 合計	2,358,350	2,458,554	△ 100,204	支出の部 合計	2,358,350	2,458,554	△ 100,204

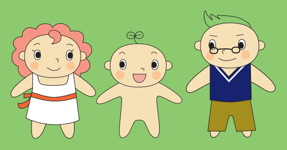
差異＝当年予算－前年決算

●表6.平成20年度消費収支予算書（平成20年4月1日から同21年3月31日まで）【単位:千円】

収入の部	当年予算	前年予算	差異	支出の部	当年予算	前年予算	差異
学生生徒等納付金	1,163,323	1,149,438	13,885	人件費	1,264,551	1,168,540	96,011
手数料	24,380	27,550	△ 3,170	教育研究経費	432,930	412,390	20,540
寄付金	10,000	37,730	△ 27,730	管理経費	168,100	162,840	5,260
補助金	503,000	559,034	△ 56,034	借入金等利息	14,200	10,450	3,750
資産運用収入	3,120	3,076	44				
事業収入	91,000	91,100	△ 100	徴収不能引当金繰入額	4,000	4,000	0
雑収入	84,720	55,978	28,742	（予備費）	5,000	5,000	0
帰属 収入 合計	1,879,543	1,923,906	△ 44,363				
基本金組入額合計	△ 24,000	△ 156,260	132,260				
消費収入の部合計	1,855,543	1,767,646	87,897	消費支出の部合計	1,888,781	1,763,220	125,561
				当年度消費収入超過額		4,426	
				当年度消費支出超過額	33,238		
				前年度繰越消費支出超過額	2,554,280	2,558,706	
				翌年度繰越消費支出超過額	2,587,518	2,554,280	

差異＝当年予算－前年決算

子育て･家庭支援センター のびのび



親子でのびのび
（月･水･金の施設開放プログラム）

◎開催計画：毎週月･水･金曜日
午前10時から12時30分

◎内　　容：支援センターを中心に学園内を開放します。
センター内でおこさまと遊んでいただいたり、季節の草花を探しながら散歩をしていただけます。

センターでは、専任の保育士がみなさまをお待ちしております。
子育てに関することなど、一緒に考えていきましょう。

のびのびくらぶ
（平日の午前中のプログラム）

◎開催計画：毎月数回　午前10時から12時30分

◎内　　容：親子の遊びをテーマに、本学園ますみ保育園の保育士によるレクチャーと実践を行います。

6月25日（水）リズムであそぼう　（申込開始 6月10日）
7月 9日（水）七夕かざりを作ろう　（申込開始 6月24日）
7月23日（水）水あそびを楽しもう　（申込開始 7月 8日）

■申込･問い合わせ先　子育て･家庭支援センター事務局 TEL.022-272-7511

近況報告

東北生活文化大学

家政学科

平成20年4月、家政学科服飾文化専攻では「TA（衣料管理士）2級」の養成を開始。新しく、伊澤華子先生を講師に、浅野朋美さんと佐々木規之さん（6月1日付助手）を副手に迎えた。3月には、家政学専攻29名、健康栄養学専攻42名が卒業した。企業や教育現場で新社会人として、また病院や施設などで管理栄養士・栄養士として、それぞれの活躍を期待する。この平成19年度卒業生による課題研究発表会（2月）、課題研究展（3月）も例年通り行われ、研究成果が公開された。遡る平成19年12月には在学生を対象とした「家政学科特別セミナー」が実施され、社会で活躍する卒業生の経験談を聴く機会が設けられた。

家政学科では、社会の要請に応じた人材の育成を目指し、充実した教育環境を作っていきたいと考える。

生活美術学科

平成20年本学科は、卒業生43名を送り出すとともに、新入生29名、編入生3名、そして「アートな職人育成プログラム」の受講生14名を受け入れた。また専任スタッフとして、情報メディア表現を専門とする渡邉圭介講師をお迎えした。恒例の行事としては、第40回卒業制作展が昨年同様せんだいメディアテークで開催され、1,600名を超す来場者を数えた。今回は平面作品について、質量ともに特筆すべきものがあった。

東北生活文化大学短期大学部

3月、短期大学部では、生活学専攻の24名（うち15名が情報処理士、5名がビジネス実務士の資格取得）と、子ども生活専攻の50名（うち48名が保育士資格と幼稚園教諭免許を取得）が、卒業生として送り出された。また、立ち上げ間もない子ども生活専攻のご指導にご尽力くださった、中村雅知先生、伊藤麗子先生の両名が退職なされ、副手の小関真由子さんと千田真理子さんが任期のため退職された。4月には、生活学専攻29名、子ども生活専攻53名の新入生を迎えるとともに、講師陣に大瀬戸美紀先生、奥山優佳先生が、新しい副手として安住恭子さんと藤本このみさんが加わり、新しいスタッフのもと新年度のスタートを切った。

また、平成19年度成人祝賀記念行事では、朝倉香絵、布田恭子、沼倉真理子、3氏によるマリンバ演奏会が1月30日百周年記念ホールにて行われ、短大生の思い出に残る楽しい演奏会となった。

東北生活文化大学高等学校

桃の節句の3月3日、体育館ステージに飾られたひな人形と五月人形の「かぶと」に見送られて、男女共学3期生273名（男子98名含む）が学び舎を巣立っていった。

卒業生の進路は、山形、弘前、宮城など国公立大学や私立大学、短大、各種専門学校に63パーセントの生徒が進学した。また、就職としては東日本鉄道、郵便事業東北支社、セントラル自動車など、その他予備校を含めて37パーセントとなっている。

4月8日には6期生446名（女子223名・男子223名）の新入学生を迎え、在籍数は1,102名と、平成元年の生徒数にほぼ回復した。

平成元年、仙台市内の中学生徒数は20,244名をピークに毎年減少に転じ、平成20年は14,200名と、6,000名ほどの生徒が減少した。この少子化の傾向は今後も続く。

そこで、高等学校では少子化対策として、平成15年度から校名の変更や男女共学制への移行、美術コースなど多彩なコースの設置、3年後の進路を見据えた教育とキャリア教育の充実、スクールバスの導入、入試広報活動の強化、PTA活動や地域と密接な交流、中学校や学習塾と連携、サッカー部や硬式野球部の創部、生徒会や文化部、運動部の活発な活動の推進、生徒一人ひとりを大切にした面倒見の良い学校づくりなど、矢継ぎ早に教育改革に取り組み、熱意溢れる教職員の献身的な教育実践が行われてきた。

このように高等学校は大きく変革を遂げ、地域から愛され、「信頼される学校」「選ばれる学校」となりつつあるとともに常に「進化」を続けている。

ますみ幼稚園

春爛漫4月。ますみ幼稚園では、87名の子供達の入園・進級があり、新たなる一年のスタートをきった。園庭にある桜の木を背に、春の爽やかな風を身体全体で受けながら、元気一杯戸外遊びを楽しむ園児の姿でにぎわっている。

今年度は、日々の保育に「立腰」を導入し、『話を聞く事の大切さ』や『最後まで頑張る事の大切さ』を育んでいきたい。さらには、体育専門の講師による体操教室の継続実践、サッカー教室、スキー場でのそりすべり体験等の運動あそびを通し『友達と力を合わせることの素晴らしさ』も伝え、『心と体』の成長への導きができるように保育を推進していきたいと思っている。

又、未就園教室「ますみキッズクラブ」の活動についても積極的推進及び充実を図っていきたい。現段階で40組の会員の参加申し込みがあり、5月17日（土）の入会式を皮切りに2月の終了式の年間10回の保育活動を予定し所期の目的を遂行したいと考える。

以上の事業の実践を通し、地域との関わりを大切にし、地域の人々に愛される『ますみ幼稚園』作りに全職員一丸となり、精神誠意邁進する所存である。

ますみ保育園

開園から5年目を迎える保育園では、12名の新入園児を迎え、68名でのスタートとなり、にぎやかな毎日を送っている。

保育の中で《歩く》ことを大切に取り入れているが、継続していくことで体力、持久力も付いてきており、5歳児は、秋の太白山登山を目標に楽しみにしている。裏山があることでとても自然に恵まれ、春先には子供たちと「ふきのとう」を収穫することもできた。今年度も保護者を支えながら、のびのびとした保育を進めていきたい。

理事会の主なる議題

■平成20年1月19日（対橋楼 春風亭）

- ○ 第1号議案　平成20年度に実施する施設・設備、修繕計画について
- ○ 第2号議案　教職員の人事について
- ○ 第3号議案　規程類の改正及び制定について
- ○ 第4号議案　その他

■平成20年3月22日（記念棟2階会議室）

- ○ 第1号議案　平成19年度補正予算（案）について
- ○ 第2号議案　平成20年度予算（案）について
- ○ 第3号議案　平成20年3～4月人事について
- ○ 第4号議案　規程類の改定及び新規制定について
- ○ 第5号議案　その他

■平成20年5月24日（記念棟2階会議室）

- ○ 第1号議案　平成19年度学校法人計算書類（案）について
- ○ 第2号議案　平成19年度事業報告書（案）について
- ○ 第3号議案　平成19年度学校法人の業務及び財産の状況に関する監査報告について
- ○ 第4号議案　平成21年度の大学学納金の値上げ（案）について
- ○ 第5号議案　学内規程の制定について
- ○ 第6号議案　役員の人事について
- ○ 第7号議案　その他

誌上
ギャラリー

「旅の日Ⅱ」

生活美術学科　1年　**髙橋多恵子**

（S50/油彩/第72回河北美術展 洋画部門の部 入選）

今年も落選して出品料が無駄になったと思っていた油絵「旅の日Ⅱ」を、無事会場に展示していただけるとの通知が届いた時は、本当に嬉しかった。ここ数年落選続きで、今後はどうやって描いて行ったら良いのだろうかと、迷った末の本学入学だったのだから。

仕事を定年退職して、人生の残り時間をどう使うかを考え、出来れば本物の画家になりたいと思った。勿論、「大学に入ったから描けるというものではないですよ。」との、有難いアドバイスは常に耳に響いている。

「人生は旅」とは言い古された表現だけれど、机を並べて学ぶ同級生達との一番の違いは、残り時間の短さ。ならば、私の残りの旅の彩りを、もっと輝かせてみたい。何よりも自分自身が納得出来る絵を描けるようになりたい。学びの4年間は、きっと短いだろう。大事に学びたいと、心底思っている。

学校法人 三島学園 学園報 第10号　平成20年7月発行　三島学園広報委員会編集

学校法人　三島学園　〒981-8585　仙台市泉区虹の丘1-18　TEL.022-272-7511（代）　FAX.022-272-7516
［URL］http://www.mishima.ac.jp　［E-mail］hojin@mishima.ac.jp

Mixed Sources Product group from well-managed forests and other controlled sources www.fsc.org Cert no. CU-COC-805208 © 1996 Forest Stewardship Council FSC
PRINTED WITH SOY INK　環境に優しい大豆油インキを使用しています　印刷／笹氣出版印刷株式会社